

日本発ドイツ便り : Notausgang

飛行機に乗ると、時々当たるのが Notausgang (ノートアウスガング : 非常用脱出口) の隣の席。大体、空港のチェックインで、「ちょっと広い席が空いてるよ～」とか言いながら渡されるのがここ。確かに足元は他の席より少し広めなので、良いのですが、このお席には義務が伴うのです。そう、緊急の場合は、乗務員と協力して乗客の脱出の手助けをしなければなりません。☺ (ということは自分が脱出するのは最後になるということですね。)

まず座るや否や、

- ・この席には義務があり、それを了承するか？ (了承しない場合は他の座席に変更してもらえます)
- ・英語 (もしくはドイツ語) が話せるか？ というチェックが入り
- ・緊急時に何をするか？ の手順を説明され、理解したかどうか確認されます。

あと、この席は足元＝避難誘導経路にあたるので、荷物とかはすべて上の棚に収納せねばなりません。

ある日のフライトで久々に当たりました。



手順をよーく見ると、この飛行機の場合、非常用扉を引っ張ったり押し上げたり回したり、挙句の果てには、ドアを外して外に投げる！と書いてありました。(そうすると脱出用スライドが出てくるようです) ちなみにドアの重さは17.5キロだそうです。(そんな重いものを投げ飛ばせるやろか？と思いつつ…。) 何も起こらないのが当たり前ですが、何かの時には「義務あり」の Notausgang 横のお席でした。

